



東京全労協

2014年2月17日 61
東京都港区新橋6-7-1
川口ビル6F
TEL. 03-5403-1650
FAX. 03-5403-1653
発行人 纈纈 朗
定価 1部 10円

14春闘勝利！安倍政権打倒！

ストライキ・大衆闘争で大幅賃上げを勝ち取ろう！ 地域共闘を軸に総資本と対決する闘う春闘の再生を！

春闘は「総労働と総資本の闘いの場」であり、「労働者の闘いの広場」として再生し、賃上げはもとより、不安定雇用と低賃金に置かれている非正規雇用労働者の増大、権利破壊、企業の不法・脱法行為、格差と貧困を徹底的に問題にし、非正規雇用労働者の均等待遇を掲げ、ストライキを武器にした大衆闘争で資本に

決しなければなりません。とりわけ、安倍政権は中小・未組織労働者をあらかじめ除外したうえで大企業の一部労働者への「賃上げ」を「要請」することにより、見せ掛けの経済成長の効果に労働者にも及ぶような幻想を振りまこうとしています。また、「特定機密保護法」の成立、「日本版国家安全



経団連要請行動に結集した仲間

「スローガン」
14春闘勝利！復興支援、沖縄連帯で闘おう！
総資本の賃金抑制を許さず大幅賃上げを勝ち取るう！
貧困・格差社会反対！非正規労働者の権利確立、均等待遇を実現しよう！
反動自公安倍政権打倒！不当解雇撤回！全ての労働争議に勝利しよう！
非正規労働者、未組織労働者と連帯し、闘う春闘を構築しよう！

保障会議（NSC）の創設、国家戦略特区、労働法制全面改悪、消費税増税、TPP推進、原発の再稼働など反動政策を強行していきます。こうした安倍政権の暴走を止める春闘にしなければなりません。
東京全労協は、「安倍政権打倒！」掲げ、2014春闘を労働者の生存権をかせ、賃上げとともに人間らしい働き方の実現をめざして闘います。
そして、例年通り、14春闘を「14けんり春闘全国実行委員会」とともに、中小・未組織労働者の期待に応えるべく、地域共闘によって春闘の再生をめざして闘います。

井上眼科病院組合潰し目的の不当解雇闘争

ハラスメント被害を食い止めよう
とした組合への報復

突然の解雇通知書が分会長自宅に届いてから4か月が経過した。去る、2月1日11時から御茶ノ水駅前で、定例の井上眼科病院不当解雇撤回闘争を行った。
全統一労働組合の組合員と共に多くの支援団体が駆け付けてくれた。
今回が10回目の社前行動であるが、病院側は今迄同様にビデオカメラ数台でその模様を撮影した。模様というよりは、個人に照準をしばり撮影し続ける。まるで犯罪を犯した者を撮影するかのようになり続ける。
昨年井上眼科病院は組合に対する嫌がらせ目的にビデオカメラを10台近く購入し、更に宣伝行動を騒音と称し音量測定器まで購入した。理事長は職員に支給する給与については高すぎるが口癖であるが、私的にも親しい三井住友銀行からの物品購入意見は丸呑みする。「ビデオカメラを大至急買ってください」と職員に命じたのが三井住友銀行転籍者だ。院内規程では物品購入するには稟議が必要だが、三井住友銀行の関係者だけは特別だ。井上賢治理事長も見て見ぬふりする。
そもそも病院内のハラスメントは理事長が見て見ぬ



に合うため直接言える者はいなかった。
井上眼科病院の離職率は大変高いが、多くがこのハラスメントが原因であると予想する。それは分会の組合員に相談や助けを求める職員が大勢いたことからほぼ間違いない事実である。現在は組合員に不当なノルマを課し、口頭、メール等様々な手段で圧力をかけている。
精神的に追い込む手段は、分会長が毎日のように上記銀行出向者から誹謗中傷の通知を渡されていたことに似ている。
しかし、分会員は組合加入後更に強くなっている。このような不当な要求に屈しない。
理事長を始めとする三井住友銀行出向者は組合員の強さを見誤ったようだ。

原発のない福祉を！3・8県民大集会 東京全労協は福島会場に参加します。

東日本大震災による原発事故から3年をむかえる福島で今年は、郡山、福島、いわき、の3会場で開催される県民大会が行われます。全国全労協は郡山、練馬全労協はいわき、の集会に参加する計画が進められています。

東京全労協はこの間、福島原水禁大会に参加していることから、福島集会に常任幹事を基本として参加します。また同時に、キャラバン行動に連帯するため復興支援も兼ねて、いわきに宿泊し翌日の小名浜地区で予定されている集会に参加します。



フジビ闘争支援共闘会議結成！

1月29日、荒川区の日暮里ひろば館で、フジビ闘争支援共闘会議結成集会が行われた。

集会とその後フジビに向けた抗議デモには、地域内外から駆けつけた労働組合員を中心に約150名が結集し、

12年9月の偽装倒産・全員解雇以来、粘り強く闘うフジビグループ分会の闘いを支援し争議の勝利解決を目指す「フジビ闘争支援共闘会議」が結成された。

東京労組野中書記長の司会で開会された集会は、始めに当該小金井分会長から共闘会議結成にいたる経過

が報告され、次に弁護団を代表し古川弁護士から「都労委の闘いもヤマ場を迎えている。皆さんと共に勝利をめざして奮闘したい。」と報告と決意が述べられた。

この間、荒川地域の地区労として当該を支援してきた荒川区労評の信坂顧問から

「当該分会が掲げる、フジ製版の偽装倒産に反対し、旧フジ製版経営者に対する倒産責任と親会社富士美術印刷に対する雇用責任を求め、その実現を目的とする。」と共闘会議の目的を含む会則、さらに議長以下三役の紹介と

地域内外の労組・民主団体による幹事役員体制が提案され、また荒川区労評常任幹事労組として当該を支援してきた東京清掃荒川支部恵良委員長から結成宣言が提案された。

会則・役員・結成宣言は、満場の拍手により確認され、

フジビ闘争支援共闘会議（略称・フジビ支援共）の結成が宣言された。フジビ支援共役員を代表して久保議長（裏面掲載）を受け、当該組合員から「今日は新たなスタート、私たちの闘いには正義がある、共に勝利を目指し頑張りた

い」と決意が述べられた。野中支援共事務局長の団結ガンパローで結成集会が

締められ、地域住民に闘争支援とフジビへの抗議をアピールしながら、富士美術印刷に向けて怒りのデモ行進を行った。



多くの労組・個人の皆さんがフジビ支援共に参加され、フジビ闘争を共に支えて下さることをお願いしています。（共闘ニュースより）

2014 新年の決意(2)

南部全労協

「原発再稼働に反対し労働法制の改悪は許さない闘いを」



南部全労協議長 伊藤隆文

安倍政権は、一昨年12月誕生以来「世界で一番企業が活動しやすい国をめざす」と企業利益優先の政策を進めてきました。

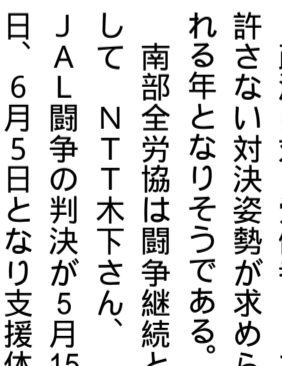
昨年だけで世界何カ国に日本企業の売込みをしてきたことが、日本原発の売り込みも「福島東京電力の原発による放射能汚染はきつちりコントロールされている」と世界に嘘をいい日本の原子力を販売している。

日本国内では除染問題もまだまだ解決がしないまま報道も後退している現状であります。

昨年12月の衆参両議会で「特定秘密保護法」を強行採決し、国家安全保障会議設置や憲法をも変え戦争の出来る国へと日本を押し進めようとしています。

北部全労協

「原発再稼働に反対し労働法制の改悪は許さない闘いを」



北部労働組合協議会 議長 小泉尚之

政治に対し労働者として許さない対決姿勢が求められる年となりそうである。南部全労協は闘争継続として N T T 木下さん、J A L 闘争の判決が5月15日、6月5日となり支援体制、デイペンロイ闘争がさらなる会社との闘いで油断を許さない状況、全面支援の状況になれば体制強化を加盟労組に要請する準備を整えています。今年も南部全労協全体で団結を固め闘っていく決意です。

これらとあわせ、規制緩和をさらに推し進め労働者派遣法の完全自由化や限定社員制度など直ぐに解雇も出来るものへとしようとしている。

政治に対し労働者として許さない対決姿勢が求められる年となりそうである。南部全労協は闘争継続として N T T 木下さん、J A L 闘争の判決が5月15日、6月5日となり支援体制、デイペンロイ闘争がさらなる会社との闘いで油断を許さない状況、全面支援の状況になれば体制強化を加盟労組に要請する準備を整えています。今年も南部全労協全体で団結を固め闘っていく決意です。

昨年アベノミクスを看板に景気対策を打ち上げ高支持率でスタートした安倍政権は数に驕りその本性を

むき出しにし、年末には特定秘密保護法を強行採決し、日本社会を大きく右旋回させ、日米軍事同盟のもと「戦争のできる国」へと突き進んでいます。

しかし民意とかけ離れた強引な政治手法に政権支持率は年末には下降線に入っています。そして東京では石原後継として登場した猪瀬都知事はオリンピック招致の他には何の実績を残すことなく退陣することになりました。

2014年の幕開けは春闘の開始と共に東京都知事選で明けます。越年となつた T P P 交渉や、企業活動最優先の労働法制改悪の動き、消費税増税などは市民生活・労働現場を直撃するものであり、ナショナルセンターの枠を超えた広範な運動・共同戦線で対抗し阻止することが問われます。

北部全労協は、1月21日に総会・旗びらきを開催し、けんり春闘に結集する仲間をはじめとし、東京北部地域から運動を作り、より広い共同行動への参加、取り組みを進めます。

雇用破壊を招く正社員ゼロ政策、解雇自由、労働時間規制の廃止など労働者の生存権全否定の流れを阻止し、原発再稼働、労働者を犠牲にした企業社会、軍事拡大路線を止めるために共に力を合わせ、がんばりましょう。

昨年アベノミクスを看板に景気対策を打ち上げ高支持率でスタートした安倍政権は数に驕りその本性を

昨年アベノミクスを看板に景気対策を打ち上げ高支持率でスタートした安倍政権は数に驕りその本性を

フジビ闘争支援共闘会議結成集会の久保議長挨拶

共闘会議議長に就任しました東京全労協の久保聡です。出身職場は全水道東水労北部第一下水道支部三河島分会です。本日のフジビ闘争支援共闘会議結成集会に沢山の仲間の皆さんに参加を頂きありがとうございます。

ただいま提案された結成宣言が参加者の皆さんの満場の拍手で確認され、フジビ闘争支援共闘会議がスタートいたしました。共闘会議の目的は、フジ製版の偽装倒産に反対し、旧フジ製版経営者に対する倒産責任と親会社富士美術印刷に対する雇用責任を求め、それを求める要求を支持し、それを

資本・経営側は、自らの延命のために労働者を犠牲にします。出された規制緩和政策は、企業が国際競争戦に生き残る戦略として、派遣・非正規労働を拡大し、労働者を「モノ扱い」したうえ、世界規模での金融危機と大不況によって、派遣切り、非正規切り、外国人労働者切り、に繋がりました。正社員も成果主義賃金と人員削減合理化、賃下げと解雇攻撃に加え、長時間労働とサービス残業を強いられ、過労死、過労自殺、精神疾患、労災事故を多発させています。さらに、こうした資本・経営側の攻撃に対し、労働組合を結成して当たり前の要求を掲げて闘う労働者には、刑事告訴、解雇、懲戒の恫喝など差別・分断攻撃をかけ、労働者の人権をも否定する経営者も後を絶ちません。

今回のフジ製版の破産、全社員18名解雇の背景には、こうした状況に加え、創業家田中一族のフジビ社長の座と莫大な資産をめぐる跡目争いもありました。骨肉の争いに勝利した社長の田中正武は、社内で唯一公然とワンマン社長の批判を行う労働組合フジビグループ分会を嫌悪し労働組合つぶしを実行したのです。

今日までフジビグループ分会の組合員は、皆さんの支援を受けながら争議の全面解決を求め、社前での連続座り込み、抗議集会、デモ、関係団体に向けた要請、都労委闘争など、あらゆる大衆行動に取り組んできました。そして、東京総行動にも加わり闘いを広めています。しかし、田中会長率いる会社側は、争議解決を進めるところか、倒産責任と雇用責任を放棄し、組合旗を奪い、団体交渉も拒否する許しがたい対応を行っています。

私たちは、この会社側の不当極まりない暴挙を断じて許す訳にはいきません。同時に、さらに闘いを強化し会社の包囲網を広げ対決しなければなりません。本日結成されたフジビ闘争支援共闘会議に沢山の仲間が結集され、一刻も早い争議解決にむけ奮闘していくことをお願いして議長就任の挨拶といたします。共に、頑張りましょう。